

カラーコーディネートの利用

文書管理番号：1073-02

Q.質問

3D パースで設定した内外壁や屋根の色の組み合わせを、別の物件でも使用したい。
3D パースの各部材の色を一括で変更したい。

A.回答

3D パースや鳥瞰図、カラー立面で設定した各部材（屋根、内外壁、建具、床、天井など）の色の情報を、新たなコーディネート（部材色の組み合わせ）として追加登録すると、別の物件でもそのコーディネートを使用することができます。

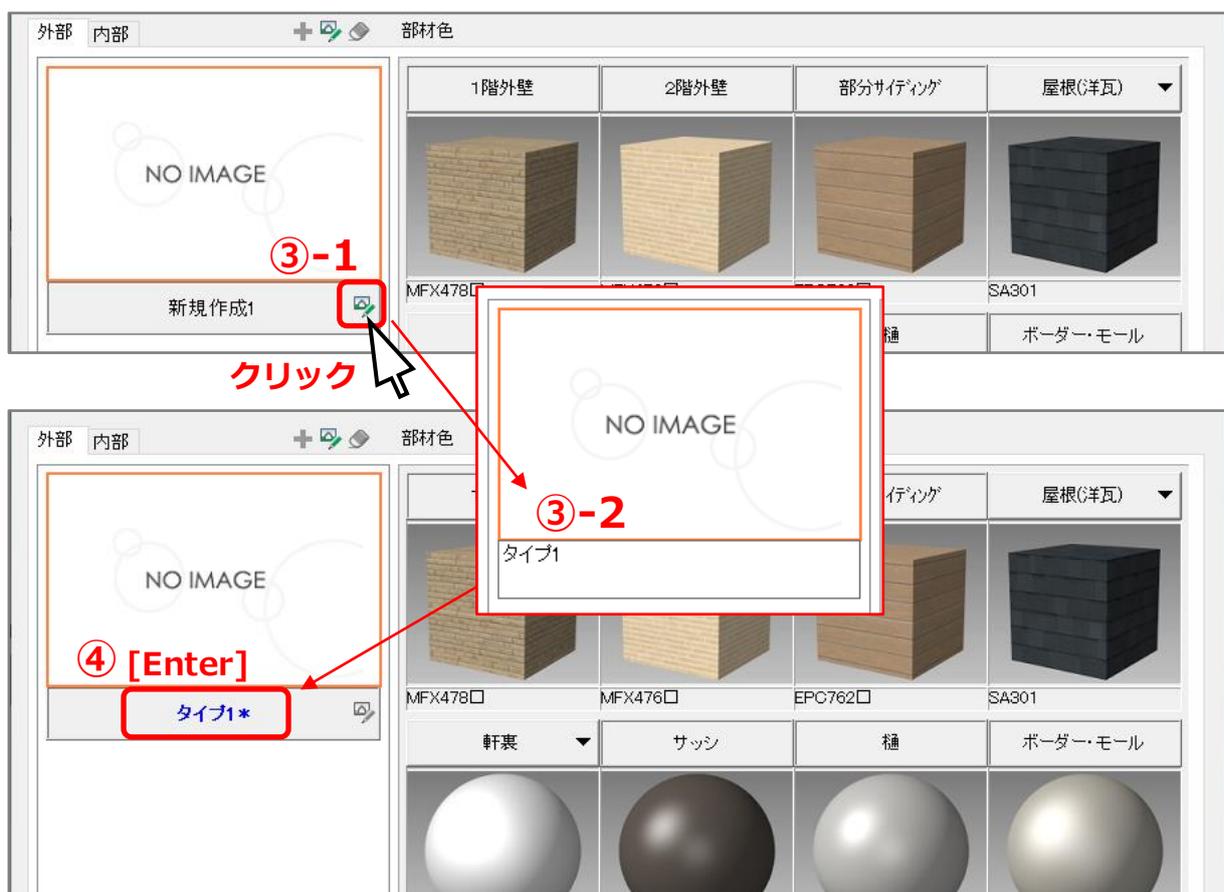
また、カラーコーディネートを変更することで、各部材の色を一括で変更することができます。
ここでは、設定したコーディネートを別の物件でも使用するための登録方法を説明します。



- *  (3D パース)や  (鳥瞰図)、  (カラー立面)のいずれかで、各部材の色を設定します。
ここでは、 (3D パース)で色を設定した状態から説明します。

操作手順：カラーコーディネート登録

- ①  (3D パース)を開き、各部材の色を設定
 - * 部材色の変更方法について、詳しくはA's (エース) のマニュアル、ヘルプをご覧ください。
- ②  (カラーコーディネート)のプルダウンメニューから、 (カラーコーディネート登録)をクリック
 - * ツールバーの「設定」⇒「カラーコーディネート」⇒「カラーコーディネート登録」を選択してもかまいません。
 - * カラーコーディネートの登録画面が表示され、現在の部材色の設定情報が追加されます。
 - * 3D パースでの視点位置によって、最初に表示される画面が異なります。屋外の場合は「外部」、室内の場合は「内部」が表示されます。
- ③ コーディネート名称の右にある  をクリックし、コーディネート名称を任意に変更
 - * ここでは、「新規作成 1」を「タイプ 1」に変更します。
- ④ キーボードの[Enter]キーを押す
 - * コーディネート名称が「タイプ 1」になります。



⑤ 「内部」タブをクリック

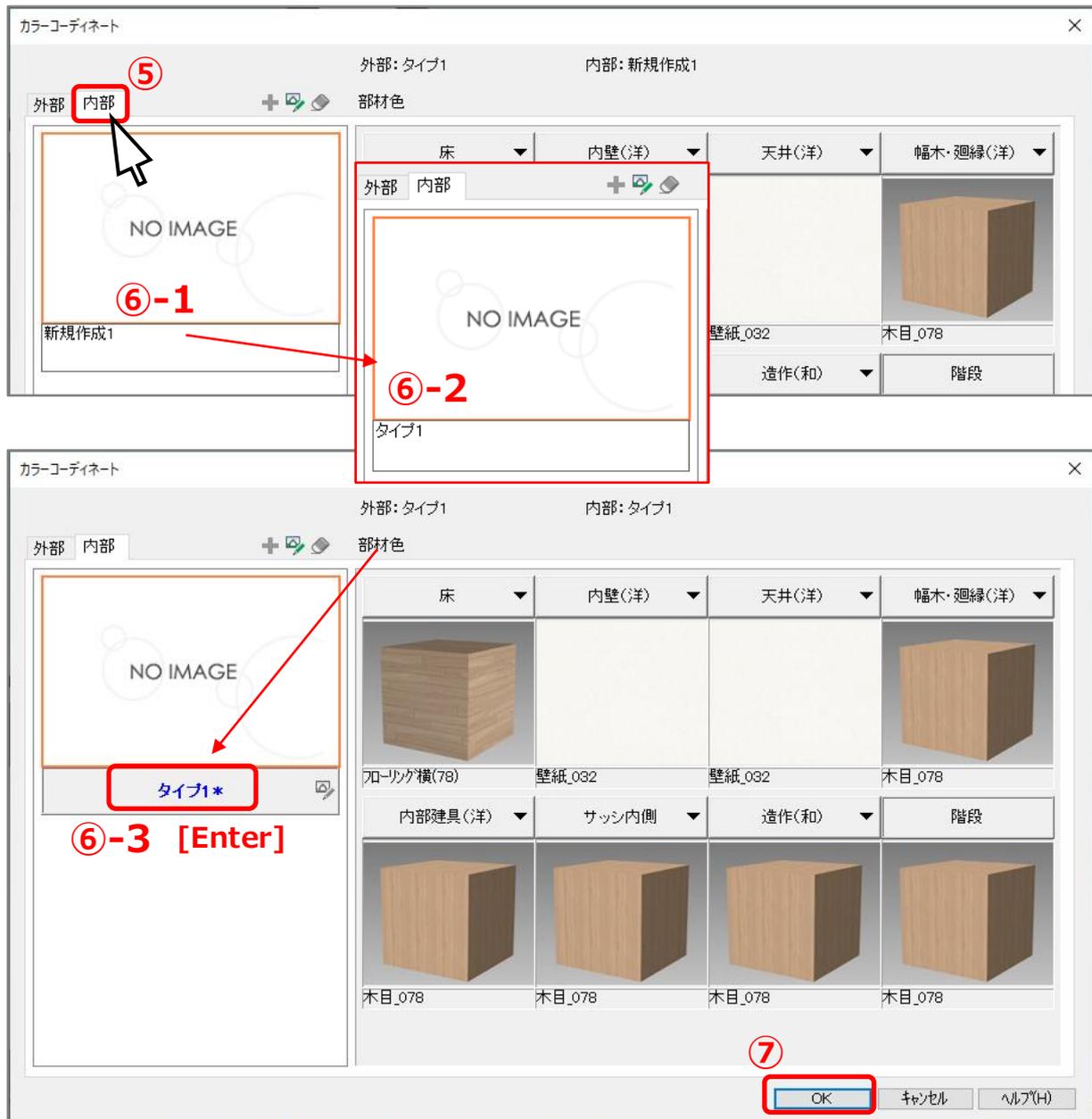
* 内部の部材色が表示されます。

⑥ コーディネート名称を任意に変更し、キーボードの[Enter]キーを押す

* ここでは、すでに文字入力ができるため、そのまま「タイプ 1」に変更します。

* コーディネート名称が「タイプ 1」になります。

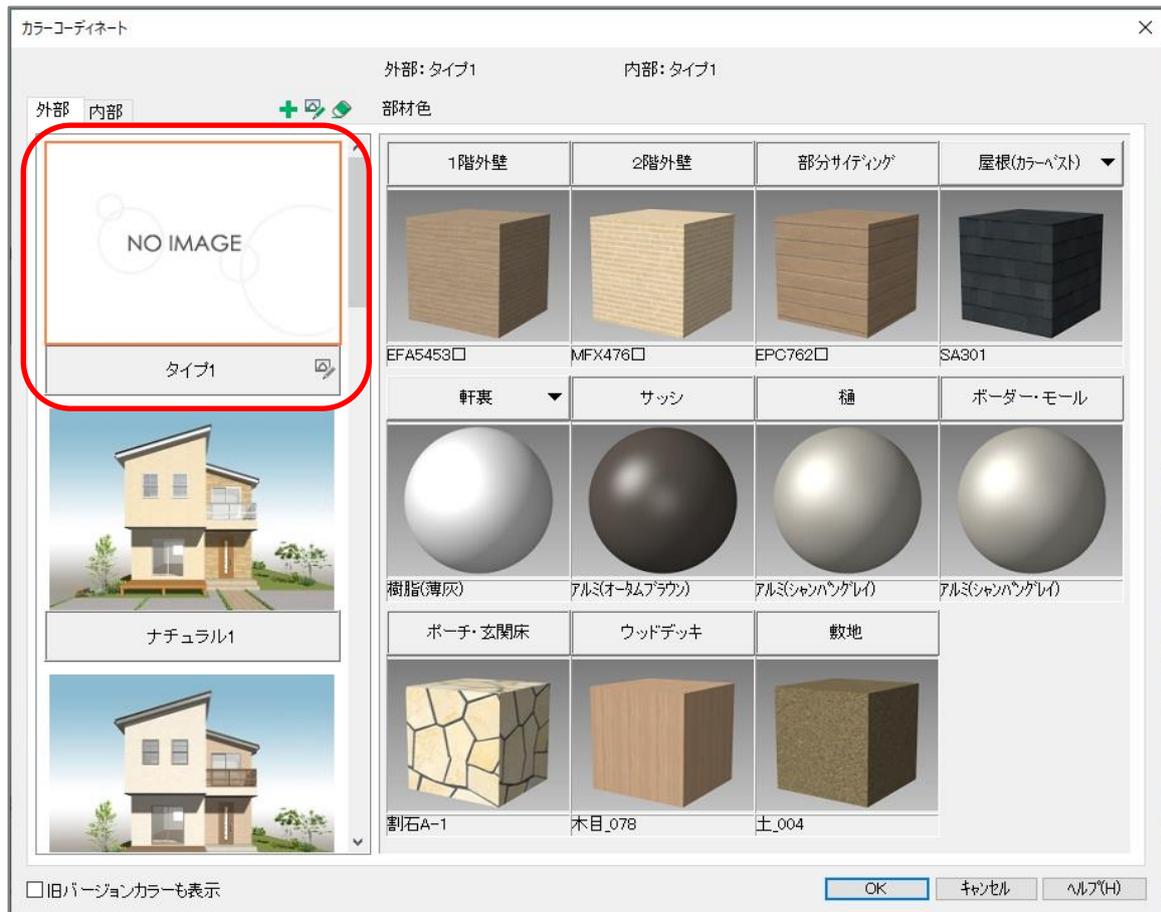
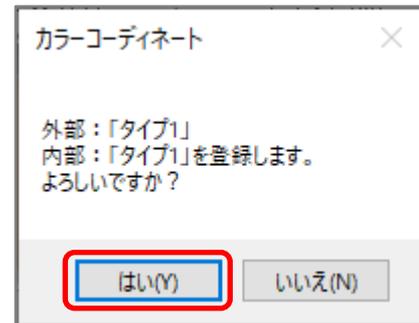
⑦ 「OK」をクリック



* 登録確認のメッセージが表示されます。

⑧ 「はい」をクリック

- * カラーコーディネート一覧に、新たなコーディネートとして追加されます。



- * カラーコーディネート登録は、「外部」「内部」を別々に登録できます。

【参考】

追加したコーディネートのイメージや部材色の内容は、任意に変更できます。イメージ画像や部材色の内容の変更については、こちらをご覧ください。

[\[1074\] カラーコーディネートの編集](#)

操作手順：追加登録したカラーコーディネートへの変更

追加登録したカラーコーディネートへ変更するには、カラーコーディネートの設定から行う方法と、作成条件から行う方法があります。

ここでは、[\[1074\] カラーコーディネートの編集](#) を参考に、イメージ画像を設定しています。

● カラーコーディネートの設定から行う場合

① (カラーコーディネート)をクリック

- * カラーコーディネートの選択画面が表示されます。
- * 「設定」⇒「カラーコーディネート」⇒「カラーコーディネート」と選択してもかまいません。

② 左側のコーディネーター一覧から、変更したいコーディネートをクリック

- * 上部に、現在選択しているコーディネート名称が表示されています。
- * 外部、内部はタブで切り替え、それぞれのタイプを選択してください。

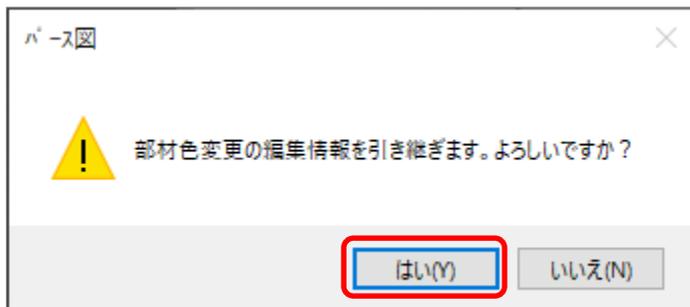
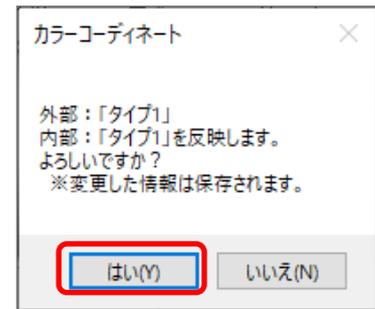
③ 「OK」をクリック



- * 変更確認のメッセージが表示されます。

④ 「はい」をクリック

- * 個別に部材色を変更している情報がない場合は、選択したコーディネート部の部材色に変更されます。
- * 個別に部材色を変更している場合は、「部材色変更の編集情報を引き継ぎます。よろしいですか?」とメッセージが表示されるので、「はい」または「いいえ」のどちらかをクリックします。



- * 「はい」 ⇒個別に変更している部材色の情報はそのまま保持され、それ以外の箇所に選択したコーディネートの部材色が適用されます。
- * 「いいえ」 ⇒個別に変更している部材色の情報を破棄し、選択したコーディネートの部材色に変更されます。

【参考】

コーディネートの種類で、1階外壁と2階外壁の部材色が異なるタイプ（ツートン_TYPEなど）を使用する場合は、「壁の最適化」処理をOFFにして、階層ごとに外壁を表示する設定でご利用ください。

「壁の最適化」は、作成条件の「外部」タブで設定できます。詳しくはこちらをご覧ください。

[\[1064\] 階層ごとに外壁を分ける方法](#)

● 作成条件から行う場合

①  (作成条件)をクリック

* 作成条件の画面が表示されます。

② 「部材色」タブで、「カラー選択する」から変更したいコーディネートを選択

③ 「3次元データ作成」をクリックし、再変換

* 3次元化が再度実行され、選択したコーディネートの部材色に変更されますが、個別に変更している部材色の情報は、そのまま保持されます。



【参考】

個別に変更している部材色の情報も破棄し、選択したコーディネートの部材色に変更する場合は、作成条件の「編集情報」タブで、「部材色変更」にチェックを入れて再変換し、部材色の情報を初期化してください。